

住居確保給付金を受給する方は、この確認書と併せ申請書(別記様式第2号)を提出する必要があります。

# 記載例

## 住居確保給付金申請時確認書

### 誓約事項

- 1 受給中、次の求職活動等要件を満たすこと又は市の作成するプランに基づく就労支援を受けること
  - (1) 月4回以上、市の支援員等の面接等の支援を受ける
  - (2) 月2回以上、公共職業安定所で職業相談等を受ける
  - (3) 原則週1回以上、求人先へ応募を行う又は求人先の面接を受ける
 

※生活困窮者自立支援法施行規則第3条第2項に該当する者については、②、③を除く。
- 2 申請者等のいずれもが国の雇用施策による給付又は地方自治体等が実施する離職者等に対する住居の確保を目的とした類似の給付等を受けていないこと
- 3 再支給の申請ではないこと(過去に住居確保給付金を受けたことがない)、又は、再支給の申請であるが、従前の支給決定後に常用就職した後に新たに解雇(本人の責に帰すべき重大な理由による解雇を除く)されたこと
- 4 申請者等のいずれもが暴力団員ではないこと、また、受給期間中においても暴力団員にならないこと

### 同意事項

- 1 以下のいずれかに該当した場合、支給が中止されること
  - (1) 誠実かつ熱心に求職活動等を行わない場合又は就労支援に関する実施主体の指示に従わない場合
  - (2) 住居確保給付金受給者が常用就職又は受給者の給与その他業務上の収入を得る機会が増加し、かつ就労に伴い得られた収入が収入基準を超える場合、またそのことを報告しない場合
  - (3) 支給決定後、住宅から退去した場合(借り主の責によらず転居せざるを得ない場合又は市等の指導により同市内での転居が適当である場合を除く)
  - (4) 申請内容に偽りがあった場合
  - (5) 支給決定後、受給者と受給者と同一の世帯に属する者が暴力団員と判明した場合
  - (6) 支給決定後、受給者が禁固刑以上の刑に処された場合
  - (7) 受給者が生活保護を受給した場合
  - (8) 支給決定後、疾病又は負傷のため住居確保給付金を中断した場合において、中断を決定した日から2年を経過した場合
  - (9) 中断期間中において、受給者が毎月1回の面談等による報告を怠った場合
- 2 本給付金の支給決定後、支給に必要な範囲で、申請者の賃貸住宅への入居状況について、訪問確認を行うことがあること又は不動産媒介業者等に報告を求めること
- 3 支給に必要な範囲で、申請者等の資産及び収入の状況につき、官公署に対し必要な文書の閲覧若しくは開示を求め、銀行、信託会社その他の機関若しくは申請者等の雇用主等に対し、給与等の支払状況若しくは収入の状況について申請者が報告することについて申請者が同意している旨を報告すること
- 4 支給に必要な範囲で、申請者等の住居確保給付金の受給状況の確認を行うことが官公署から情報を求めること

申請日は記載しないでください

記名押印又は署名してください

\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

登別市長 小笠原 春一 様

上記誓約事項及び同意事項について確認の上、誓約及び同意します。

申請者氏名 登別 太郎 記名押印又は署名 印

## 当初申請時

### 添付書類

- 1 本人確認書類  
運転免許証、個人番号カード、住民基本台帳カード、旅券、各種福祉手帳、健康保険証、住民票、戸籍謄本等のいずれかの写し
- 2 離職関係書類  
下記のいずれかを証する書類
  - ・ 2年以内に離職又は廃業したことが確認できる書類の写し
  - ・ 申請日において就業している個人の給与その他の業務上の収入を得る機会が当該個人の責めに帰すべき理由、都合によらないで減少し、当該個人の就労の状況が離職又は廃業の場合と同等程度の状況にあることを確認できる書類の写し
- 3 収入関係書類  
申請者及び申請者と同一の世帯に属する者のうち収入がある者について収入が確認できる書類の写し
- 4 金融資産関係書類  
申請者及び申請者と同一の世帯に属する者の金融機関の通帳等の写し

### 追加提出書類

- 1 求職申込関係書類  
公共職業安定所から交付を受けた求職受付票(ハローワークカード)の写し
- 2 入居(予定)住宅関係書類
  - (1) 住宅喪失者  
不動産媒介業者等から交付を受けた入居予定住宅に関する状況通知書(別記様式第3号)
  - (2) 住宅喪失のおそれがある者  
貸主等から交付を受けた入居住宅に関する状況通知書(別記様式第4号)